

私と色の散歩 いたる 加洲 至さん



“シャッターとブロック塀に描く”

シャッターとブロック塀に描かれた大きな絵。この作品を手掛けたのは、1月号の同コーナーで紹介した林仁ひとしさんの師匠である加洲いたる至さんです。38年間の教員生活のほとんどを美術教諭として南宇和高校で過ごしていたため、教え子の方も多くいらっしゃると思います。

これまで手掛けてきた自身の作品を眺めながら加洲さんは、「写真ではできないことをするのが絵。絵でできることは遊び心いっぱいには誇張させたり崩したり、自由に表現できるのが絵の魅力」と話します。

加洲さんは定年退職してからブロック塀に絵を描きはじめ、何度も塗り直ししながら完成させると、今度はシャッターにも色を塗りたいと思い立ち、制作に取り掛かったと当時を振り返ります。縦2m×横5mという大きなキャンバスに絵を描き進めていくのに完成予定図のようなものは一切用意しない、それが加洲さんの流儀。色と線が散歩しているように描き進めたと話す加洲さんは、「具体的なものだけじゃ見ても描いても退屈してしまう。思い切って抽象的な要素を取り入れ、無邪気に画面の中で遊んだ気がする」と笑顔で話します。

これから手掛けてみたい作品について訪ねると、「その思いはひとつもないな。今まで行き当たりばったりで制作してきて、それはこれからも同じ。いつかまた自分の中に遊び心がふわっと湧いたらアトリエに籠る」と表情を緩ませました。

編集後記

成人式取材しました。久しぶりに向かう成人式、あまりの勢いに2回目出席すると思われたのか、周りに「間違っても振袖を着て行くなよ」と念押しされる始末。まだいける!!という思いに蓋をして、式典用スーツを着て撮影しました。

色鮮やかな振袖に弾ける笑顔、ピシッと着こなしたスーツに映える精悍な顔の新成人たち、とても眩しかったです。皆さま成人おめでとうございます。可能性に満ちた未来、素敵な20代となるようお祈り申し上げます。 H

先月の私と〇〇で掲載した林仁さんから紹介していただいた加洲至さん。ブロック塀とシャッターに描かれた大きな絵は以前から私も気になっていましたが、数珠つなぎ企画のような形で今回の取材が実現しました。

毎日のように見ていた絵ですが、近くでじっくり見てみると、熱帯魚が泳いでいたり赤とんぼが飛んでいたり、本当に遊び心に富んでいます。

皆さんも、加洲ワールドに飛び込んで色の散歩に出掛けてみてください。 M

愛南町の世帯数と人口

令和7年1月1日現在

世帯数	9,802世帯 (-18世帯)
人口	18,573人 (-42人)
男	8,804人 (-18人)
女	9,769人 (-24人)

愛南町の高齢化率 47.4%
※ () 内は前月比

●10年前同月の人口 23,573人

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

<https://www.town.ainan.ehime.jp/>